

日本教育学会2020年度 近畿地区活動 シンポジウム

これからの社会が求める教育人材を育て、支えるために

—法人統合する奈良教育大学・奈良女子大学が目指す新しい教員養成・教員研修—

# 「教育大学」として奈良女子大学と 共に歩む奈良教育大学の将来構想



2021/3/7

赤沢 早人(奈良教育大学)

akazawa@cc.nara-edu.ac.jp

# よろしくおねがいします!

授業研究

学校改善



カリキュラム・  
マネジメント

教師の  
専門職性

あか ざわ はや と  
**赤 沢 早 人**

**奈良教育大学  
学長補佐(教育課程担当)**

# 「教育大学」奈良教育大学の将来構想

1. 「教育大学」である奈良教育大学の  
教職課程の現状と課題
2. 第4期中期目標・計画期間に向けて
3. 女子大との「教職課程の共同運用」

# 「教育大学」奈良教育大学の将来構想

## 1. 「教育大学」である奈良教育大学の 教職課程の現状と課題

# 奈良教育大学の教職課程の現状と課題

- 2012年度** 総合教育課程廃止に伴う教職課程の再編  
(科目系列の整備、4年間を見通した科目編  
成など)
- 2016年度** 日本教育大学協会助成研究「改正免許法  
に対応した質の高い学部教職課程『次世代  
教員養成カリキュラム・奈良モデル』の構築」
- 2019年度** 「再課程認定」に対応した「新教職課程」  
(学部)の実施(今年度2年目)
- ：
- 2024年度** 女子大学との共同運用を前提にした教職課  
程の本格実施？

# 奈良教育大学の教職課程の現状と課題

## 2019年度 「再課程認定」に対応した「新教職課程」 (学部)の実施(今年度2年目)

### ○ 授業科目の新設、再編成

cf 総合的な学習の時間の指導法、特別支援教育論、教科内容研究など

### ○ DP、CP、APの一体的見直し

1. 現代社会の課題を把握し、教育を構想する力【教育構想力】
2. 子どもの発達と学習を理解する力【子ども理解力】
3. 専門的に指導をする力【専門的指導力】
4. 多様な人とつながる力【コミュニケーション力】
5. 自らの教職キャリアを切り拓く力【職能成長力】

### ○ 奈良教育大学カリキュラム・フレームワーク(Cuffet)の改訂

### ○ 教職指導の見直し

奈良教育大学教育学部DP  
 【教育構想力】【子ども理解力】【専門的指導力】  
 【コミュニケーション力】【職能成長力】



発展期

子ども理解と専門的指導に関する内容

教職実践演習

卒業論文

スクサポ

就職支援

教師塾

学校フィールド演習II

教育実習

教師としての成長に関する内容

学校フィールド演習I

教科内容研究

教科教育

教科専門

四年次



第三年次

実践期

総合的な学習の時間

特別活動

道徳教育

特別支援教育

教育相談

進路指導

カリキュラム

生徒指導

教育経営

教育方法

教育社会学

展開期

現代社会と学校教育の基礎的理解に関する内容

発達心理学

教育心理学

学習心理学

現代教師論

基礎ゼミ

教養

第二年次

導入期

教育基礎論

学び入門

ESD

憲法

体育実技

外コミ

情報機器

外国語

第一年次



# 奈良教育大学の教職課程の現状と課題

## 奈良教育大学カリキュラム・フレームワーク(Cuffet) 一部

ディプロマ・ポリシー	Cuffet<カリキュラム・フレームワーク(7つの目標資質能力基準)>		カリキュラム・ポリシー	
	Cuffet項目 (教員が授業科目等を設計・実施するための規準)	指標 (学生が自らの学修成果を振り返るための規準)	スコープ	対応する授業科目
<p>1. 現代社会の課題を把握し、教育を構想する力 【教育構想力】</p> <p>現代日本の社会と学校教育に関する幅広い知識をもとに、現代的な教育課題に対応した教育活動を構想することができる</p>	<p>1. 現代社会と学校教育との関連</p> <p>現代の社会や学校教育に関する幅広い知識を習得した上で、持続可能な社会の担い手を育むための教育活動を構想することができる。</p>	<p>-1 現代社会と学校教育に関する知識等</p> <p>-2 現代社会と学校教育の課題に基づいた教育活動の構想に関する思考力・判断力・表現力等</p>	現代社会と学校教育の基礎的理 解に関する内容	教育基礎論、教育社会学、教育経営行政論、カリキュラム論、外国語、外国語コミュニケーション、日本国憲法、体育実技、教養科目の一部、等
<p>2. 子どもの発達と学習を理解する力 【子ども理解力】</p> <p>人間の成長・発達と学習に関する基礎的な知識をもとに、子どもの成長・発達を促す教育実践のあり方をイメージすることができる</p> <p>3. 専門的に指導をする力 【専門的指導力】</p> <p>集団と個への指導・支援に関する基礎的な知識・技能及び各教科等の内容・教材に関する専門的な知識・技能をもとに、学校現場における適切な指導・支援の方法を計画・実施することができる</p>	<p>2. 教科、領域の内容・特性</p> <p>教育活動に生かすために、教科、領域の内容と特性に関する専門的な知識・技能等を習得している。</p>	<p>-1 教科、領域の内容に関する知識・技能等</p> <p>-2 教科、領域の特性に関する知識等</p> <p>-3 教科、領域の内容・特性に関する思考力・判断力・表現力等</p>		

# 奈良教育大学の教職課程の現状と課題

## 奈良教育大学の現行教職課程の課題

- 教育実践力と教科等の専門性のバランスの取れた育成
- 次世代の教員に求められる資質・能力の育成
- 教員養成と教員研修の高度な融合
- デマンドサイドとのさらなる連携
- カリキュラム・オーバーロード状態
- 担当教員の不足(後任補充凍結) 等々



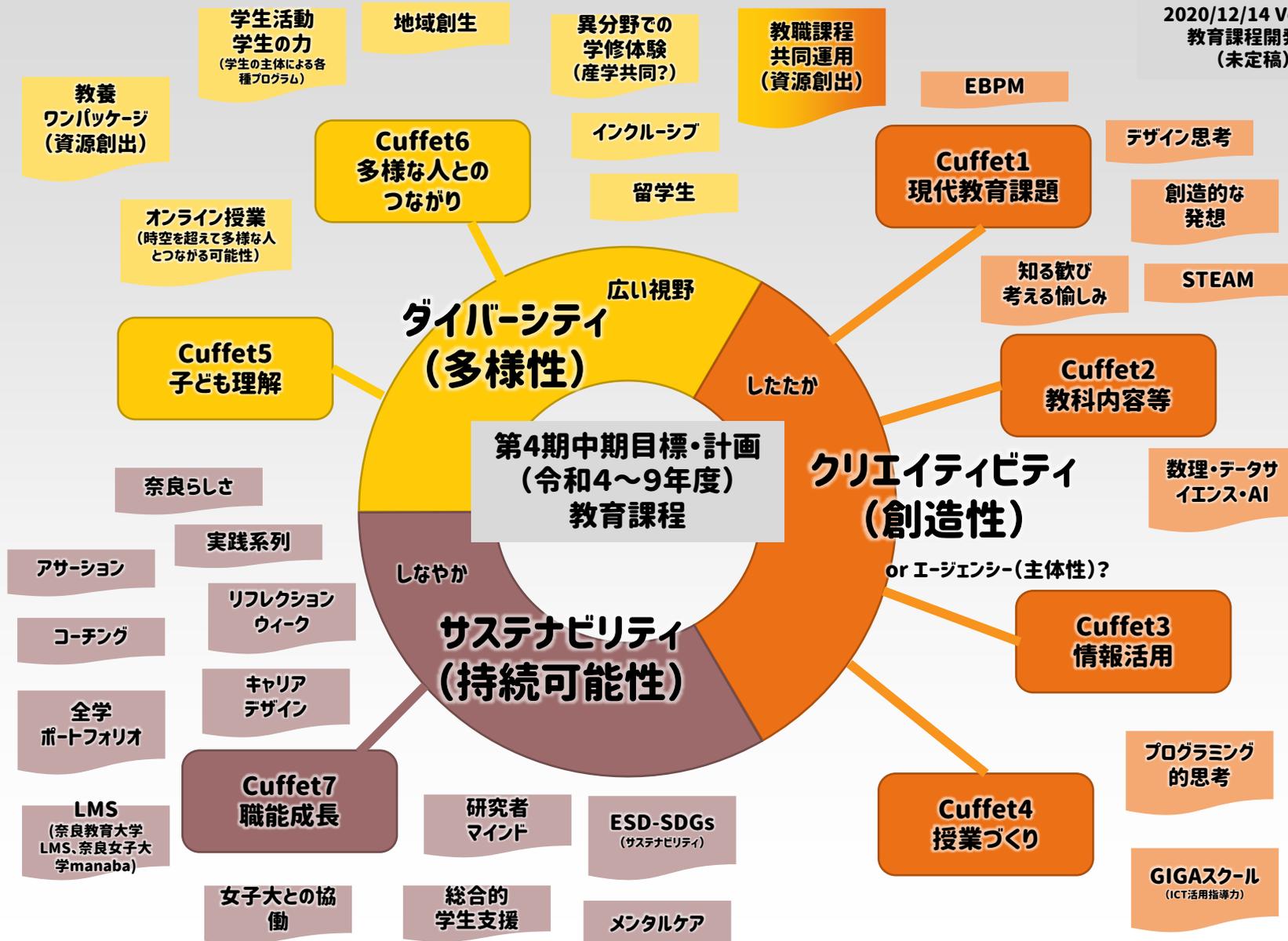
教員養成に特化した「教育大学」のブランドやリソースを活かしつつ、「教育大学」に求められる社会的使命を高い次元で実現していくために、「一般大学」である奈良女子大学と協働!

# **「教育大学」奈良教育大学の将来構想**

## **2. 第4期中期目標・計画期間に向けて**

# 第4期中期目標・計画期間に向けて

2020/12/14 Ver.0.4  
教育課程開発室  
(未定稿)



# 第4期中期目標・計画期間に向けて

## 第4期の教職課程(奈良教育大学)では(構想)…

- 「奈良教育大学ダイバーシティ推進宣言」の実現に向けて、多様性理解に関わる科目、留学生と共同履修する科目の履修を促進するとともに、学部学生と留学生とが交流できるプログラムを実施
- STEAM教育の視点に基づき、「創造的な発想」や「デザイン思考」を刺戟する授業内容やプログラムを開発・実施
- 小学校プログラミング教育、GIGAスクール、EBPM、数理・データサイエンス・AIなど、教育の高度情報化に対応できる授業内容やプログラムを開発・実施

# 第4期中期目標・計画期間に向けて

## 第4期の教職課程(奈良教育大学)では(構想)…

- 現在の「教職指導および履修指導」を中心とするリフレクションウィークの取組を見直し、入学時の学校適応(初年次教育)、継続的な教職指導・履修指導、生活指導、メンタルケア、キャリアデザイン支援、就職支援を有機的につないだ学生指導・支援を行うことのできるシステムを開発・実施
- オンライン授業フォーマットを開発・実施(オンライン授業実施に最適化されたシラバスのフレーム完成・実施+オンライン授業実施に向けた環境整備)

# **「教育大学」奈良教育大学の将来構想**

## **3. 女子大との「教職課程の共同運用」**

# 女子大との「教職課程の共同運用」

複数の学科間・大学間の共同による  
教職課程の実施体制について  
(報告書)

令和2年2月18日

中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会  
教職課程の基準に関するワーキンググループ

- ★教職課程の実施体制に関する基本的な方向性
- ★複数の学科等において教職課程を共同で実施する体制
- ★複数の大学の間において教職課程を共同で実施する体制
- ★教職課程の質の保証及び向上に関する仕組み

# 女子大との「教職課程の共同運用」

## 【第4期中期目標・計画期間中】

- ・幼稚園・小学校教員の免許授与について、共同教育課程を編成して両大学が1つの教職課程を企画・運営
- ・中学校・高等学校・特別支援学校教員の免許授与について、両大学の複数の学科等がひとつの教科の免許を出すための教職課程を共同で運用

# 女子大との「教職課程の共同運用」

## 【令和4年度まで】

- 教職科目の内容の共通部分について、両大学による共同運用が可能となる科目を、各授業科目の実施内容・実施方法を精査
- 「共同で設置する部分」についての具体的計画を策定
- 「それぞれが単独で設置する部分」についての具体的計画策定
- 令和4年度に、「授業の一部を共同で実施する科目」と「授業の全部を共同で実施する科目」の一部について、課程認定を受けた上で実施を開始

# 女子大との「教職課程の共同運用」

## (例)教育社会学

### 教育大「教育社会学」 (2回生前期)



- 第1回 オリエンテーション:教育と社会
- 第2回 現代社会と教育課題① 不登校をめぐる動向と政策
- 第3回 現代社会と教育課題② いじめをめぐる指導上の課題
- 第4回 現代社会と教育課題③ 国際比較からみる日本の教師・教育
- 第5回 学力と学歴① 学歴社会の成立と変貌
- 第6回 学力と学歴② 国際学力調査と諸外国の教育改革
- 第7回 学力と学歴③ 教育格差と是正のための学校や地域の取り組み
- 第8回 グローバリゼーションと教育① グローバリゼーションと<新しい能力>
- 第9回 グローバリゼーションと教育② グローバル人材育成のための教育政策
- 第10回 グローバリゼーションと教育③ 教室・地域の多文化化と教育実践
- 第11回 学校と地域との連携① 地域と子どもの社会化、連携の経緯・意義・方法
- 第12回 学校と地域との連携② 子どもの貧困や多文化化をめぐる取り組み事例
- 第13回 学校と地域との連携③ 教育魅力化・高校魅力化の教育改革による地域連携
- 第14回 学校安全への対応 学校文化と教育リスク、学校における安全管理と安全教育
- 第15回 まとめ:社会の中の教育 授業のまとめと確認

### 女子大「教育社会学(中高A)」 (2回生前期)



- 第1回:教育社会学を学ぶ意義
- 第2回:教育と社会の戦後史
- 第3回:今日の子どもを取り巻く環境 —家庭・地域の変容とSNSの普及—
- 第4回:子どもにとっての学校に行く意義 —脱学校論をふまえて—
- 第5回:職業としての教師
- 第6回:組織としての学校
- 第7回:学校をめぐる行財政
- 第8回:教育格差・学力格差の実態とそれへの方策
- 第9回:高校教育をめぐる諸問題 —「多様化」の理念と実態—
- 第10回:大学入試改革をめぐる諸問題 —何が「公正」であるのか—
- 第11回:カリキュラムと教科書の社会学
- 第12回:学校・家庭・地域の連携 —学校運営協議会やPTAについて—
- 第13回:学校の危機管理
- 第14回:教育改革の世界的動向
- 第15回:まとめ —教育社会学と教育実践とのつながり—

# 女子大との「教職課程の共同運用」

## 【令和6年度まで】

- 「共同教職課程の完全実施」に向け、学部改組や教員配置計画に即した立案、両大学教員研修
- 課程認定を受けるための諸整備
- 課程認定を受けた上で令和6年度を目途に運用を開始

日本教育学会2020年度 近畿地区活動 シンポジウム

これからの社会が求める教育人材を育て、支えるために

—法人統合する奈良教育大学・奈良女子大学が目指す新しい教員養成・教員研修—

# 「教育大学」として奈良女子大学と 共に歩む奈良教育大学の将来構想



ありがとうございました!